



令和2年度水質、大気及び化学物質の測定結果をお知らせします

水質汚濁防止法等関係法令に基づき、令和2年度に長野県内で実施した常時監視等の測定結果を取りまとめました。公共用水域の環境基準達成率は河川、湖沼とも昨年度に比べ上昇し、大気環境及び化学物質は例年通り良好な状態を維持しています。

1 水質測定結果の概要

○河川・湖沼

- ・河川のBOD 70地点中69地点で環境基準を達成(達成率:98.6%)【前年度95.8%】
- ・湖沼のCOD 15湖沼中6湖沼で環境基準を達成(達成率:40.0%)【前年度33.3%】

○地下水

- ・県内の井戸の汚染状況を把握するための概況調査の結果、県内66井戸中64井戸で環境基準を達成。汚染が確認された井戸(その周辺を含む。)については継続的に監視を行っています。

2 大気測定結果の概要

○一般環境大気

- ・二酸化硫黄等4物質は、16測定局全てで環境基準を達成。
- ・光化学オキシダントは、15測定局全てで環境基準を超過したものの、注意報の発令には至りませんでした。

○道路周辺大気

- ・5測定局の全てで環境基準を達成。

○酸性雨

- ・県内4地点の平均値はpH5.39(前年度pH5.43)で、酸性化が進んでいる状況にはありません。

3 化学物質測定結果の概要

○ダイオキシン類

- ・大気、土壌、河川・湖沼、地下水及び底質の計14地点全てで環境基準を達成。

○有害大気汚染物質

- ・6測定局全てで環境基準又は指針値を達成。

4 その他

- ・今年度から主要湖沼の透明度について、測定結果の中に新たに掲載しました。

- ・測定結果の詳細は別紙及び下記ホームページをご覧ください。

<https://www.pref.nagano.lg.jp/mizutaiki/kurashi/shizen/suishitsu/kasen/suishitsu/r2.html>

(トップページ>暮らし・環境>自然・水・大気>水質保全>河川・湖沼等の水質測定結果>

水質・大気・化学物質常時監視測定結果>令和2年度水質・大気・化学物質測定結果について)

信州版「新たな日常のすゝめ」

©長野県アルクマ



新型コロナウイルスの感染を防止するための行動を自ら考え実践しましょう

環境部 水大気環境課

(課長) 仙波 道則

(担当) 青柳 嶺奈 (水質保全係)

(担当) 木口 恵理 (大気保全係)

電話(直通) 026-235-7162 (水質)

026-235-7177 (大気)

電話 026-232-0111 (代表)

内線 2756 (水質) 2761 (大気)

F A X 026-235-7366

E-mail mizutaiki@pref.nagano.lg.jp